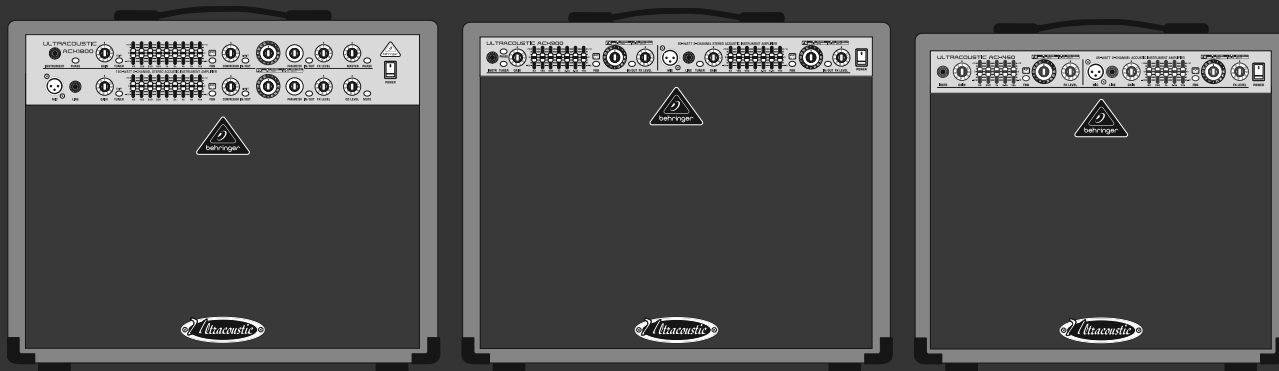




クイックスタートガイド



ULTRACOUSTIC

ACX1800

180-Watt 2-Channel Stereo Acoustic Instrument Amplifier with Dual FX and FBQ Feedback Detection

ACX900

90-Watt 2-Channel Stereo Acoustic Instrument Amplifier with Dual FX and FBQ Feedback Detection

ACX450

45-Watt 2-Channel Acoustic Instrument Amplifier with Dual FX and FBQ Feedback Detection

JP

JP

安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついて 있습니다。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、LAB GRUPPEN、LAKE、TANNOY、TURBOSOUND、TC ELECTRONIC、TC HELICON、BEHRINGER および BUGERA は MUSIC Group IP Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP Ltd. 2017 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

1. はじめに

この度は ULTRACOUSTIC をお買い求めいただき誠にありがとうございます。最新の 2 チャンネルアンプ ULTRACOUSTIC が、多様な用途に応じたすばらしいサウンドと敏速かつ簡単な操作をお届けします。内蔵式 24 ビットマルチエフェクトプロセッサや FBQ フィードバック検出システムなど、多彩な仕様を装備した ULTRACOUSTIC により、あなたのサウンドにさらに磨きがかかります。外部エフェクト機器からのループやプレイバック演奏を可能とする多彩な接続機能が、ULTRACOUSTIC を完璧なオールラウンダーとしています。

本機に装備された操作エレメントおよび機能ですべてご理解いただけるよう、ご使用前に本説明書をよくお読みください。この説明書をお読みになった後は、必要に応じて読み返せるよう大切に保管してください。

1.1 ご使用の前に

1.1.1 出荷

ULTRACOUSTIC は、安全な輸送のため工場出荷時に十分な注意を払って梱包されていますが、万一、包装ダンボールに損傷を発見した場合には、機器外部の損傷についても確認を行なってください。

万一装置が損傷している場合には、保証請求権が無効となる恐れがありますので、製品を当社へ直接返送せず、必ず販売代理店および運送会社へご連絡ください。

本機の保管や運送の際には、製品への損傷を避けるため、常にオリジナルの梱包材を使用するようにしてください。

製品および梱包材はお子様の手の届かない所に保管してください。

梱包材はすべて環境保護に準じた方法で処分してください。

1.1.2 使用開始

機器の過熱を防ぐため充分な換気の確保に留意し、本機をパワーアンプの上や暖房機器の近くへ設置することはお避けください。

本機の電源アダプターをコンセントに接続する前に、装置が供給電源に合わせて設定されていることを必ず確認してください。

装置によっては、電源プラグに装備されているヒューズホルダー部に 3 つの三角マークがついている場合があります。この場合、このうち 2 つの三角マークが対向表示されており、装置はこれらのマーク横に表示されている運転電圧に設定されていることを意味します。設定変更を行なう場合には、ヒューズホルダーを 180° 回してください。ご注意： 輸出用モデルは電源電圧 120 V 用に設計されています。このため、上記備考の対象にはなりません。

本機を他の電源電圧に設定する場合には、他のヒューズを使用してください。適切な値に関しては「テクニカルデータ」の章をご参照ください。

溶断したヒューズは必ず適切な値のヒューズと交換してください。適切な値に関しては「テクニカルデータ」の章をご参照ください。

本機を電源コンセントに接続する場合には、付属の IEC コネクター付きケーブルをご使用ください。このケーブルは必要な安全基準を満たしています。

必ず全装置にアース処理を行なうようご注意ください。装置および電源線のアースを除去もしくは無効力状態にすることは大変危険ですので、絶対に行なわないでください。装置をコンセントに接続する際は、必ず正常な接地線をご使用ください。

2. 操作部と各接続端子

2.1 フロントパネル

1 INSTRUMENT と表示されたジャックは ULTRACOUSTIC にアコースティックギターを接続するための 6,3 mm 入力端子です。接続には市販の 6,3mm モノラルケーブル（楽器専門店で入手できるもの）を使用します。リハーサルやコンサートの際に不快なハムノイズを発生させないために、ローノイズ型ケーブルを使用してください。

2 PHASE スイッチは楽器チャンネルの位相を 180° ずらします。この機能はフィードバック問題やダブル・ピックアップ・システムによる位相誤差の解決のために役立ちます。

3 GAIN コントローラーは楽器チャンネルの音量設定に使用します。

4 TUNER スイッチ（ACX450 以外）はチャンネル出力をミュートに切替えます。音声は常に背面の TUNER ジャックに出力されています。このジャックには外部接続型の調音装置（BTR2000、TU100 など）を接続することができます。

入力がオーバードライブしている場合には、TUNER スイッチの CLIP LED が点灯します。この場合には GAIN コントローラーを使って、CLIP LED が点灯しなくなるまで入力ゲインを下げてください。楽器チャンネルには十分な余裕が設けられているため、ピーク信号での CLIP LED の断続的な点灯は問題を意味するものではありません。

5 これは FBQ EQUALIZER です。それぞれのスライド式コントローラーで一定の周波数領域を調整します。スライド式コントローラーが 0 の位置になっている場合、音声信号の加工は行なわれません。周波数をブーストする場合には該当コントローラーを上へ動かし、カットする場合には下へ動かします。最大ブースト・カット量は 12 dB です。

6 FBQ スイッチにより FBQ 機能を起動します。FBQ 機能が起動されると、コントローラー LED が明るく点灯します。その後、再生時には発光強度でそれぞれの周波数バンドのエネルギー量を表示します。これにより、目で確認しながらサウンド調整やフィードバック除去を行なうことを可能としています。FBQ 機能の機能・解除に関わらず、イコライザーは常時起動しています。

7 MIC と表示されたジャックはマイク/ラインチャンネルのバランス型 XLR マイク入力端子です。

8 マイク/ラインチャンネルのバランス型 LINE ジャック（6,3 mm ジャック）はキーボードやドラムコンピューターなどのラインレベル音声信号に向いています。

9 COMPRESSOR コントローラーにより、圧縮強度を調整します（ACX1800 のみ、4.3 章参照）。

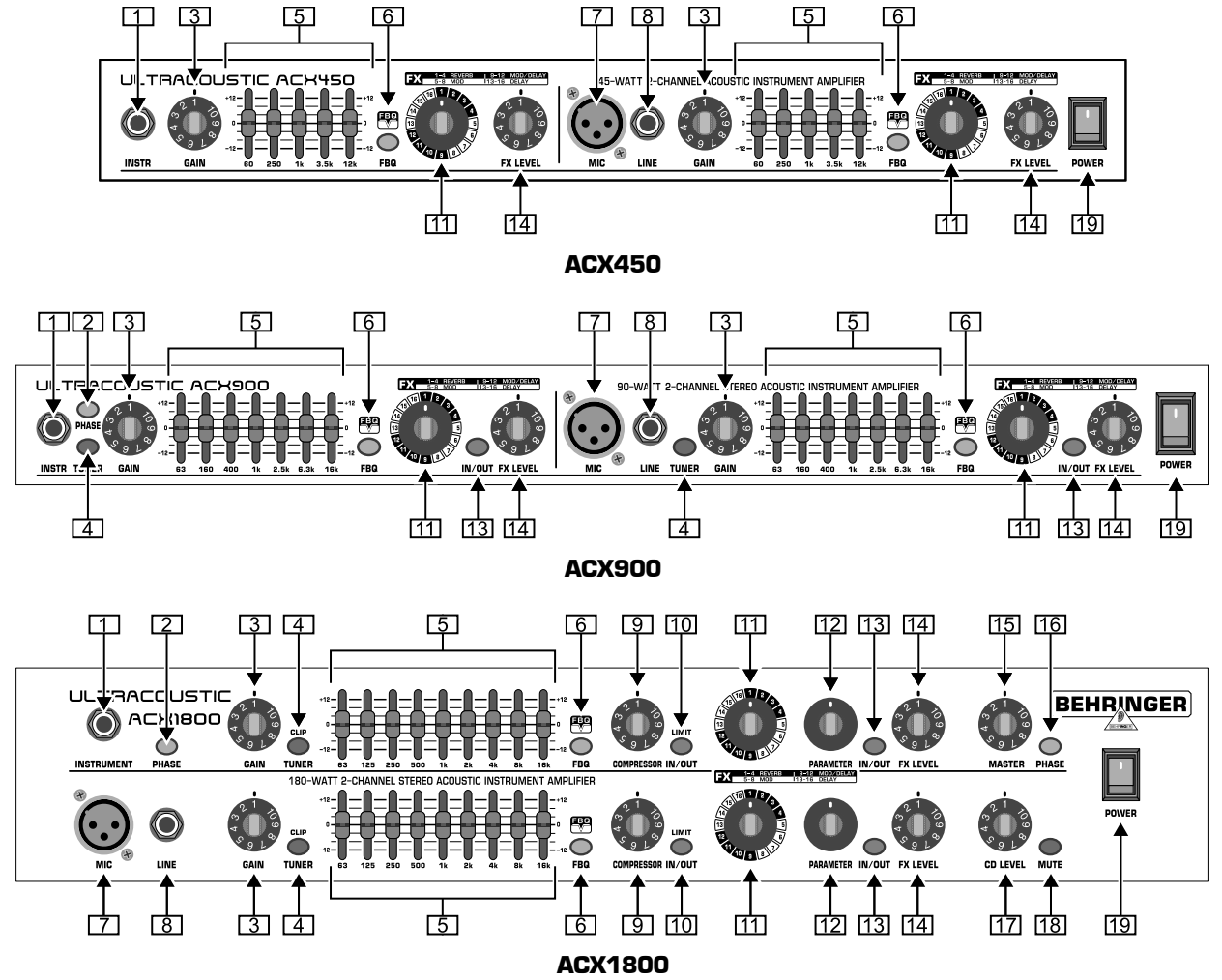


図 2.1: フロントパネルのコントローラー・スイッチ類

10 IN/OUT スイッチを押してコンプレッサーを起動させます（ACX1800のみ）。

11 網目模様のついた FX SELECT コントローラーにより、16 種のエフェクトプログラムの中から 1 つのエフェクトプログラムを選択します。それぞれのエフェクトに関しては 4.2 章の表 4.1 を参照してください。

12 PARAMETER コントローラーによりエフェクトパラメータを編集できます（ACX1800のみ）。エフェクトごとにどのパラメータを変更できるかに関しては、表 4.1 を参照してください。

13 IN/OUT スイッチを押して選択したエフェクトを起動します（ACX450のみ）。エフェクトが起動されると、スイッチ上の LED が点灯します。エフェクトの起動・解除には、付属のフットスイッチを使用することも可能です。

14 FX LEVEL コントローラーにより、選択中のエフェクトの割合を調整します。

15 MASTER コントローラーで ACX1800 の全体の音量を決定します。

16 PHASE スイッチは合算された信号の位相を 180° ずらします（ACX1800のみ）。フィードバックの問題が生じた場合に、このスイッチを起動させてください。

17 ULTRACOUSTIC の背面には、CD 入力端子が装備されています。マスターセクションの CD LEVEL コントローラーにより CD 入力端子に接続されている音声

信号の音量を調整できます（ACX1800のみ）。ACX900 および ACX450 では、このコントローラーは背面に設置されています（図 2.2 参照）。

18 MUTE スイッチにより、ACX1800 の CD 入力音声をミュートに切替えます。

19 POWER スイッチを押して ULTRACOUSTIC に電源を投入します。本機を電源コンセントに接続する際には、必ず POWER スイッチを「オフ」にしておいてください。本機を電源網から遮断するためには、電源プラグを抜いてください。電源プラグへ簡単に手が届くことを確認してから、本機を使用してください。

ご注意： POWER スイッチを切っても電源網への接続は完全には遮断されません。長期間にわたって本機をご使用にならない場合には、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。

2.2 装置背面

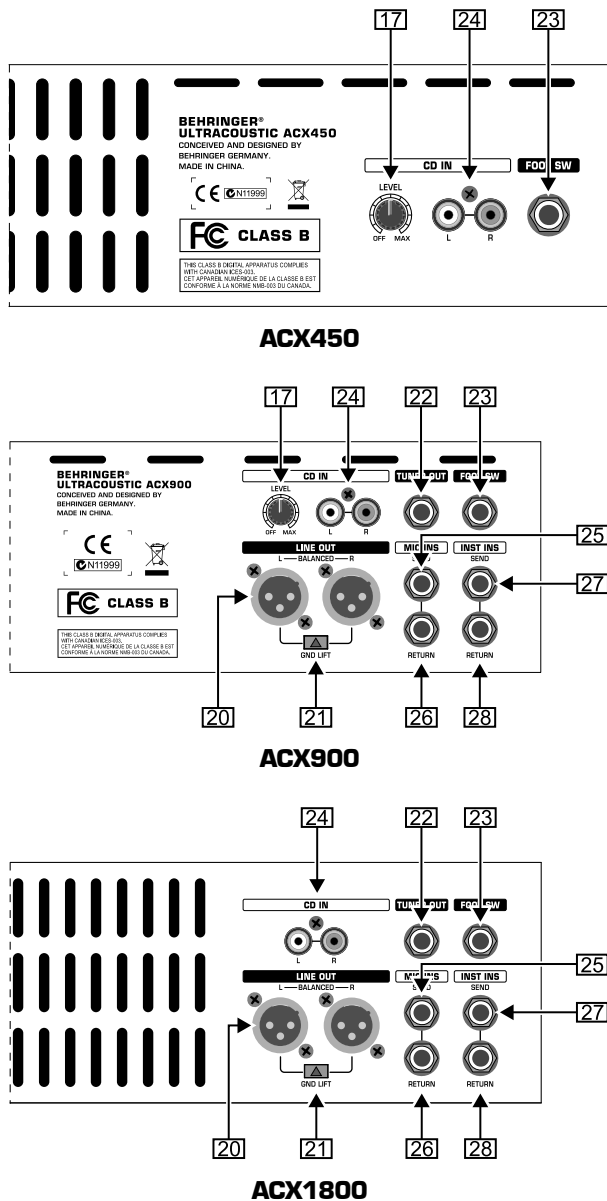


図 2.2: 装置背面のコネクター

- [20] バランス型の *LINE* 出力端子 (XLR コネクター) により、ULTRACOUSTIC をミキサーの入力端子と接続することができます (ACX1800 および ACX900 のみ)。
- [21] *GND LIFT* スイッチ (グランドリフト) により、アンプとミキサー間のグランドを分離することができます (スイッチを押した状態)。これにより、ハムノイズやグラドループの発生を抑えます。
- [22] 楽器チャンネル内の音声信号を *TUNER* 出力端子で取り出し、調音装置に送ることができます。音声信号は常にこのジャックへ送られています。
- [23] 付属のダブルフットスイッチを *FOOT SW* (ITCH) ジャックに接続します。フットスイッチを使用し、両チャンネルのエフェクトを起動・解除することができます (*IN/OUT* スイッチ [13] の機能と同様)。
- [24] *CD IN* 入力端子 (RCA) に外部からのステレオ音源を接続することができます。この端子の使用により、お気に入りの CD や MD またはドラムコンピューターに合わせて演奏することが可能となります。

[25] + [26] *MIC INSERT*: マイクチャンネルのシリアルループを使用し、外部接続型のエフェクト機器をループすることが可能です。この際、*SEND* ジャック [25] とご使用中のエフェクト機器の入力部を接続してください。外部エフェクト機器の出力部は ULTRACOUSTIC の *RETURN* ジャック [26] に接続してください。

[27] + [28] *INST(RUMENT) INSERT*: マイクチャンネルには、外部エフェクト機器用シリアルループがさらにもう1つ装備されています。[27] は *SEND* ジャック (出力)、[28] は *RETURN* ジャック (入力) です。

🔊 チャンネル内の音声信号を独立して録音する際には、*INSERT SEND* ジャックをパラレル出力として使用することもできます。これは *RETURN* ジャックを使用しない限り、内部での音声信号の流れは中断されません。

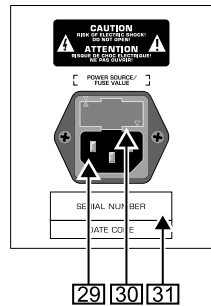


図 2.3: IEC 入力コネクター、ヒューズホルダー、シリアルナンバー (背面)

- [29] 電源は IEC コンセントに接続します。これに適切な電源線は付属されています。
- [30] ヒューズホルダー/電圧切替 本機の電源アダプターをコンセントに接続する前に、電圧表示がご使用になる地域での供給電源に一致しているかを必ず確認してください。ヒューズを取り替える際には、必ず同一のタイプのものを使用してください。装置によっては、230 V と 120 V を切替えられるようにヒューズホルダーが2箇所に取り付けられるようになっているものがあります。ご注意: 本機をヨーロッパ以外の地域で 120 V の電圧で使用する場合、ヒューズは安全値の高いタイプのものを使用してください。
- [31] シリアルナンバー。

3. 結線例

3.1 ACX450 の結線例

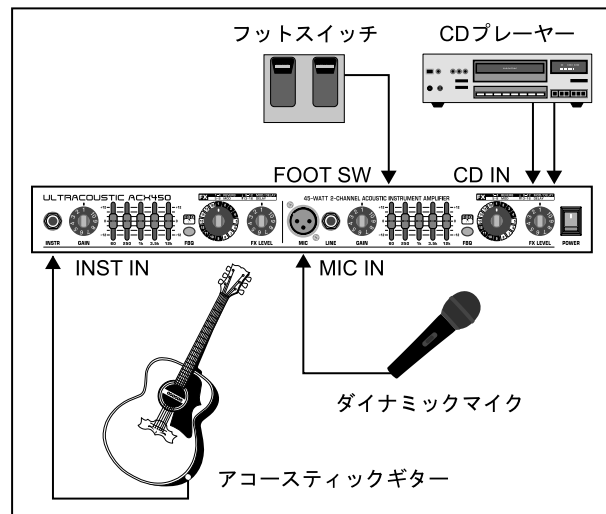


図 3.1: ACX450 の結線例

この結線方法はリハーサルルームでのセッションやご自宅での練習などの用途に適しています。お手持ちのギターをチャンネル1の楽器入力端子に接続してください。チャンネル2には、さらにその他の楽器やダイナミックマイクを接続することができます。

付属のフットスイッチ FS112 を装置背面のフットスイッチ入力端子に接続してください。フットスイッチを使用し、両チャンネルのエフェクト機器を起動・解除することができます。これはライブ演奏時に特に便利です。

プレイバックに合わせて演奏する場合には、CD プレイヤーを CD 入力端子に接続します。ここには、MD プレイヤーやコンピューターを接続することも可能です。

3.2 その他の結線例 (ACX900 および ACX1800)

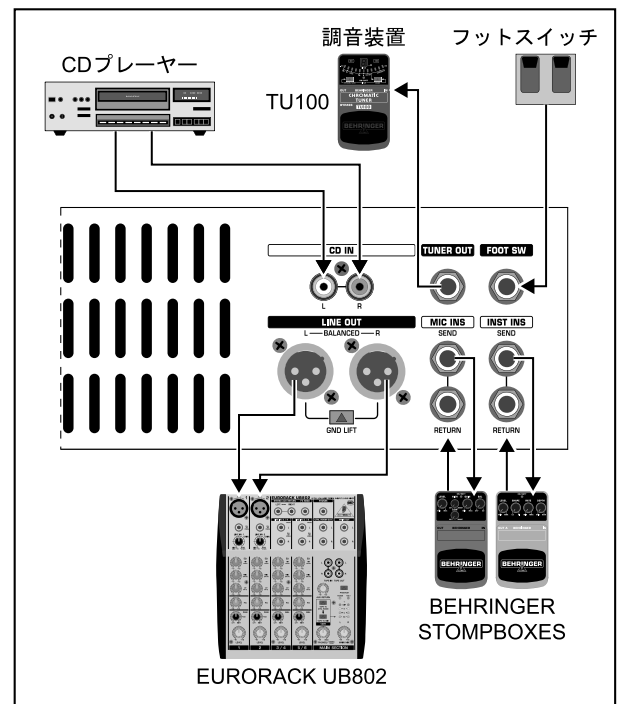


図 3.2: その他の結線例 (ACX900 および ACX1800)

ACX900 および ACX1800 では多彩な接続方法を可能としています。この図はあくまでも一例です。:

楽器、マイク、フットスイッチ、CD プレイヤーの結線は図3.1と同様の方法で行ないます。調音装置はチューナー出力端子に接続します。ここには、楽器音声信号が常に送られています。外部接続型のエフェクト機器は、それぞれのチャンネルに独立して接続することができます。どちらかのチャンネルの *INSERT SEND* をエフェクト機器の入力部と接続し、エフェクト出力を同じチャンネルの *INSERT RETURN* と接続します。記載中のボードエフェクトではシリアル構成によるシングルループとして使用されていますが、これは19" スタジオエフェクト機器を使用してパラレル・エフェクトループとして使用することも可能です。この場合、*MIC INSERT SEND* または *INSTRUMENT INSERT SEND* 出力端子のどちらかをエフェクト機器の入力部と接続し、*CD INPUT* 入力を介してエフェクト機器のステレオ出力信号を送り返す必要があります。これにより、*CD LEVEL* コントローラーでギター音声信号をエフェクト信号に混ぜることが可能となります。この方法で使用する場合には、エフェクト機器がエフェクト信号のみ (100%) を送り出すことが必要です。この際、オリジナル信号はエフェクト機器から送られないようにする必要があります。

PA サウンド機器を使用してライブで楽器演奏する場合、通常 DI ボックスが必要となります。DI ボックスは、長いケーブル用に音声信号を処理し、ミキサー用に高めの出力レベルを送ります。ULTRACOUSTIC には DI ボックスが直接内蔵されています。バランス型 *LINE* 出力端子をミキサー入力端子やミキサーへ送られるマルチコアと直接接続してください。この際、マイクケーブル (2心、XLR プラグ付きシールドケーブル) を使用してください。

4. サウンドの加工

ULTRACOUSTIC では、FBQイコライザーやマルチエフェクト機器、ACX1800 のコンプレッサーなど、4 種類の方法でサウンド加工が行なえます。これらの多様な加工方法は、この章で紹介しています。

4.1 FBQ イコライザー

FBQスペクトル解析機能を装備したグラフィックイコライザーを使用し、サウンド調整または修正を行なうことができます。スライドコントローラーが 0 の位置になっている場合、音声信号の加工は行なわれません。

- ▲ 周波数をブーストする場合には該当コントローラーを上へ動かします。
- ▲ カットする場合にはコントローラーを下へ動かします。
- ▲ FBQスイッチ[6]を押して、FBQ表示をオンにします。

FBQ機能：それぞれのコントローラーには LED が装備されています。これらの LED の発光強度により、それぞれのコントローラーの周波数レベルが確認できます。これによりそれぞれのサウンド加工に適したコントローラーの敏感な確認を可能としています。例えばサウンドが単調すぎたり過度に響きすぎたりすると、該等するコントローラーの LED の発光強度が強くなります。このコントローラーをやや下げると、この強力な響き（ベースの効きすぎたサウンド）を解消できます。または、音声信号の割合を変えて（コントローラーを上へ移動）目立たないサウンドを強調します。

🔊 周波数を強調したい場合には、ブーストするだけが唯一の方法とは限りません。他の周波数をややカットすることも可能です（コントローラーを下へ移動）。これにより、内部音声信号のレベルが高くなりすぎることを防ぎ、優れたダイナミックリザーブ（ヘッドルーム）を維持することが可能となります。

4.2 デジタルエフェクトプロセッサー

ULTRACOUSTIC の大きな特長としては、個々に完全に独立したチャンネルを使用するマルチエフェクトプロセッサーが内蔵されていることがあげられます。それぞれのエフェクトモジュールには、4 つのカテゴリーに分けられる 16 の多彩なプログラムが搭載されています。

- ▲ 装置上のIN/OUTスイッチ[13]かフットスイッチを押すことで、簡単にエフェクトを起動・解除できます。
- ▲ FX SELECT コントローラー[11]を回して、プログラムを選択します。以下の一覧表でエフェクトプログラムを参照してください。

FX	FXプログラム	機能	パラメータ (ACX1800)
REVERB	1	Chamber	Decay
	2	Room	Decay
	3	Hall	Decay
	4	Concert	Decay
MOD	5	Chorus	Depth
	6	Flanger	Depth
	7	Phaser	Speed
	8	Tremolo	Speed
MOD/DLY	9	Chorus / Delay 400 ミリ秒	Delay Level
	10	Flanger / Delay 400 ミリ秒	Delay Level
	11	Chorus / Delay 300 ミリ秒	Delay Level
	12	Flanger / Delay 300 ミリ秒	Delay Level
DELAY	13	Delay 80 ミリ秒	Feedback
	14	Delay 300 ミリ秒	Feedback
	15	Delay 400 ミリ秒	Feedback
	16	Delay 500 ミリ秒	Feedback

表 4.1: エフェクトプログラム

- ▲ FX LEVEL コントローラーにより、エフェクトが聞こえるようになります。
- ▲ PARAMETER コントローラー[12]により、エフェクトに変化をつけてください（ACX1800 のみ）。

1-4 REVERB

リバーブプリセットは、様々な大きさの空間に応じたりバーブ効果を再生するホールエフェクトです。PARAMETER コントローラーによりリバーブタイム（Decay）を設定します。

- 1 **CHAMBER**により、スタジオ空間における典型的な特性を再現します。このエフェクトは、残響効果を抑えて音声信号を生き生きとさせたい場合に適しています。
- 2 **ROOM**：明らかに反響音が聞こえる中規模な空間。
- 3 **HALL**：生き生きとした、残響効果の強いホールを再現します。
- 4 **CONCERT** により、大規模なコンサートホールの強度なりバーブを再現します。

5-8 MOD

以下では、多種の方法により作り出される多彩なモジュレーション効果を紹介しています。ここでは、Depth（モジュレーションの深さ）または Speed（モジュレーション速度）の調整が可能です。

- 5 **CHORUS**により、ギター音声信号にさらにふくらみと広がりを与えます。ここでは、入力音声信号に遅延が掛けられます。
- 6 **FLANGER**：音程のコンスタントなモジュレーションが達成できることで人気のあるギターエフェクトです。
- 7 **PHASER**：フェーザーはフランジャーほど目立ちません。このエフェクトは入力音声信号に位相をずらしたエフェクト信号を重ねることで作り出されます。
- 8 **TREMOLO**：音量の変化を敏感かつ強度に行なうものともいえます。

9-12 MOD/DELAY

コーラスやフランジャーをディレイと組み合わせるデュアルエフェクトも数種あります。ACX1800 ではディレイエフェクトの音量を設定することも可能です。

- 9 **CHORUS/DELAY** ディレイ時間 400ミリ秒
- 10 **FLANGER/DELAY** 長めのディレイ時間（400ミリ秒）
- 11 **CHORUS/DELAY** 短めのディレイ時間（300ミリ秒）
- 12 **FLANGER/DELAY** ディレイ時間 300ミリ秒。

13-16 DELAY

多彩な長さのディレイ時間をもつ遅延効果があります。パラメータフィードバックにより繰り返し回数を調整します。

- 13 短めの**DELAY** ディレイ時間 80ミリ秒
- 14 中度の**DELAY** ディレイ時間 300ミリ秒
- 15 **DELAY** ディレイ時間 400ミリ秒
- 16 長めの**DELAY**：ディレイ時間 500ミリ秒

4.3 コンプレッサー（ACX1800 のみ）

コンプレッサーは音声信号のダイナミックレンジを低減します。音量ピークはカットされ、小音量の音声信号はブーストされます。これにより楽器音声やボーカル音声の最大音量と最小音量の差を縮小します。このようにして力強く均等なサウンドを得ることが可能となりますのです。ここでは長く伸びる音における（終わりの音の）サステインを延長します。

- ▲ コンプレッサーをオンにしてください（ONスイッチ[10]）。
- ▲ COMPRESSOR コントローラー[9]をゆっくりと右へ回し、圧縮強度を強めます。
- ▲ （ONスイッチで）オンとオフに交互に切替えることにより、圧縮された音声信号を加工されていない信号と比較できます。

高めの入力音声信号が送られると、コンプレッサーがうまく作動します。音声信号が低すぎると、コンプレッサーコントローラーを高めに設定した場合にのみエフェクト効果が得られるようになります。これは、コンプレッサーの起動時に高いレベルジャンプが生じることがあります。GAIN の設定が高すぎると、圧縮効果が早いうちから生じます。この場合、適切な圧縮効果を得るために COMPRESSOR コントローラーをあまり開きすぎないようにしてください。実際に試してみることで適切な設定状況を得てください。

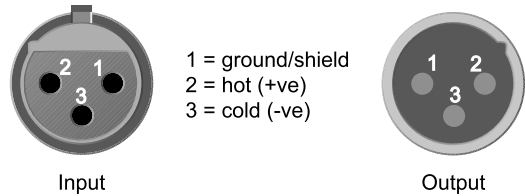
5. 設置方法

5.1 オーディオ接続

BEHRINGER ULTRACOUSTIC のオーディオ入出力端子は、LINE 入力モノラルジャックを除いて、すべてアンバランス型モノラルジャックとなっています。LINE OUT コネクターはバランス型 XLR 出力端子となっています。CD 入力端子はRCAコネクターとなっています。

🔊 本機の設置および操作は必ず専門家が行なってください。設置および操作の際には、作業者の接地を十分に確保してください。これを怠ると、放電などにより運転性能が悪化することがあります。

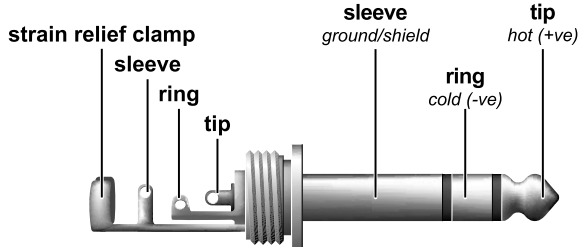
XLR コネクターによるバランス型接続



アンバランス使用の際には Pin 1 と Pin 3 を接続してください。

図 5.1: XLRコネクター

ステレオフォンジャックによるバランス型接続



バランス型端子をアンバランス型として使用する場合にはリングとスリーブを接続してください。

図 5.2: 6,3 mm モノラルジャック

6.3 mm モノラル・フォンプラグを使用したアンバランス接続

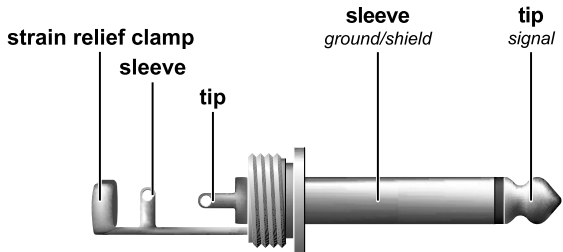


図 5.3: 6,3 mm モノラルジャック

JP 技術仕様

ACX1800		ACX900		ACX450
Audio Inputs				
INSTRUMENT IN	¼" TS unbalanced			
Input Impedance	10 MOhm			
MIC IN	XLR balanced			
Input Impedance	4 kOhm			
LINE IN	¼" TRS balanced			
Input Impedance	40 kOhm			
INST INSERT RETURN	¼" TS unbalanced	¼" TS unbalanced	—	
Input Impedance	220 kOhm	220 kOhm	—	
MIC INSERT RETURN	¼" TS unbalanced	¼" TS unbalanced	—	
Input Impedance	220 kOhm	220 kOhm	—	
CD Input	RCA			
Input Impedance	RCA			
Audio Outputs				
LINE OUT	XLR balanced	XLR balanced	—	
Output Impedance	4.3 kOhm	4.3 kOhm	—	
Max. output level	>24 dBu	>24 dBu	—	
INST INSERT SEND	¼" TS unbalanced	¼" TS unbalanced	—	
Output Impedance	100 Ohm	100 Ohm	—	
Max. output level	>18 dBu	>18 dBu	—	
MIC INSERT SEND	¼" TS unbalanced	¼" TS unbalanced	—	
Output Impedance	100 Ohm	100 Ohm	—	
Max. output level	>18 dBu	>18 dBu	—	
TUNER OUT	¼" TS unbalanced	¼" TS unbalanced	—	
Output impedance	33 kOhm	33 kOhm	—	
Max. output level	>6 dBu	>6 dBu	—	
System Specifications				
Power rating	2 x 90 / 2 x 4 Ω	2 x 45 / 2 x 4 Ω	1 x 45 / 2 x 4 Ω	
Digital Processing				
Converters	24-bit sigma-delta, 64/128-times oversampling			
Sampling rate	40 kHz			
Loudspeakers				
Type	2 x 8"	2 x 8"	1 x 8"	
Model	BUGERA dual cone speakers			
Impedance	4 Ohm			
Power handling	60 W	60 W	40 W	
Power Supply				
Mains Voltage				
USA/Canada	120 V~, 60 Hz			
Europe/U.K./Australia	230 V~, 50 Hz			
Japan	100 V~, 50 - 60 Hz			
China/Korea	220 V~, 50 Hz			
General Export model	120/230 V~, 50 - 60 Hz			
Power consumption	max. 265 W	max. 135 W	max. 90 W	
Fuses 100 - 120 V~	T 6.3 A H 250 V	T 3.15 A H 250 V	T 2.5 A H 250 V	
Fuses 200 - 240 V~	T 3.15 A H 250 V	T 1.25 A H 250 V	T 1.25 A H 250 V	
Mains connection	Standard IEC receptacle			
Dimensions/Weight				
Dimensions (H x W x D)	232 x 423 x 526 mm (19.1 x 16.6 x 20.7")	242 x 427 x 526 mm (19.5 x 16.8 x 20.7")	212 x 413 x 455 mm (8.3 x 16.2 x 17.9")	
Weight	19.5 kg (42.9 lbs)	17.6 kg (38.8 lbs)	14.3 kg (31.5 lbs)	

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. **ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
2. **故障:** MUSIC Group デイラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることが出来ます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
3. **電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

Dedicate Your Life to MUSIC